

建築物概要等	主要構造 <small>(該当するもの全てにチェック)</small>	<input type="checkbox"/> 木造 (<input type="checkbox"/> 軸組工法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法 <input type="checkbox"/> 丸太組工法 <input type="checkbox"/> その他 (木造ラーメン構造)) <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他				
	応募する部門	<input type="checkbox"/> 木造又は木造との混構造の部 <input type="checkbox"/> 内装木質化の部 ※ 木造との混構造：木造+非木造 (鉄筋コンクリート造, 鉄骨造など)				
	利用者数	人/日				
	防火地域等の区分	<input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域 <input type="checkbox"/> 法 22 条区域 <input type="checkbox"/> その他の区域				
	耐火建築物等の要件	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(1 時間) <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(45 分) <input type="checkbox"/> その他建築物				
	階数	地上 階 ・ 地下 階				
	延床面積(a)	m ²				
	建築工事費(b)	千円 ※ 建築工事費に、電気設備工事費や機械設備工事費は含めない うち補助事業費：事業名 補助金額 千円 事業名 補助金額 千円				
木材の利用	木材使用量(c)	m ³ (うち:かごしま材 m ³ ・主な樹種) ※ 内訳は、別紙 1 にて提出すること				
	単位床面積あたりのコスト(b/a)	円/m ²	単位面積あたりのかごしま材使用量(c/a)	m ³ /m ²		
	主な木材使用部材と使用樹種等	外部	屋根		開口部	
			外壁		柱・その他	
		内部	床		天井	
			壁		梁・柱・その他	
木材の調達に係る地域との連携体制の工夫	※ ○○地域協議会を結成し、川上から川下の連携による地域材の調達体制を構築 ※ 地域材コーディネーターが原木生産者と木材加工会社を仲介した木材を使用など					
デザイン性・機能性等	劣化対策や更新の容易性など施設の維持管理に関する対策	※ 維持管理や更新を容易とする設計上の工夫 ※ 長期利用に耐えうるよう○○の処理・加工を行った部材の開発 ※ 木質材料の△△の特徴を活かし××の工夫をすることにより採用 など				
	防耐火面についての検討・工夫	※ 施設の耐火性能に係る取組や独自の工夫、その効果等 など				
	木の良さを活かし、周囲の景観と良く調和したデザインの採用	※ 他の資材を利用した場合には採用しないが、木材故に採用したデザイン ※ 周囲に調和する施設とするため、工夫や採用したデザイン など				

	快適な室内環境についての工夫	※ 照明や空調設備の配置など、木の良さを引き立てる空間づくりの工夫 ※ 利用者が安心・安全で快適に過ごせる空間にするための工夫 など
波及効果等	大径材や新たな工法、建築資材の利用を含む、木材の有効活用・高付加価値化の取組	※ 材の特性（樹種、径級、長さ等）を活かした部材の開発 ※ 既存ストック木材や、間伐材、風倒木、小径木、端材等の活用 ※ CLT 等について、構造耐力上主要な部分への活用方法、それ以外の部分への活用上の工夫 など
	かごしま材の利用拡大につながる他の施設への波及効果や木材利用の PR 方法	※ かごしま材を多く利用するために行った工夫 ※ 同様の仕様・設計による類似建築物への応用や非木造建築物との比較によるコストダウンの工夫（採用した工法・デザインが、低コスト、施工・加工等が容易） ※ ホームページや SNS, パンフレットといった発信媒体の種類及び内容、発信回数など
その他事項	木造及び木質化した理由	
	建築物の建設にあたって苦勞した点、工夫した点	※ 建築コストの縮減や工期の短縮に係る工夫 など
	自由記述欄	※ 建築物利用者の声（なるべく具体的に） など

（その他添付資料）

- 1 木材使用量内訳（別紙 1）
 ※かごしま材出荷証明書（「合法木材証明制度」に基づく「鹿児島県産材の証明方法」によるもの）を添付すること
- 2 建築物のパンフレット等や写真（別紙 2）
 ※建築物の様子（外観・内観・木構造等）が分かるものを提出すること
 ※写真は、Excel データによる提出とし、添付する写真の枚数は 12 枚以内とする
 ※建築物を紹介するパンフレット等がある場合添付すること（1 部まで）
- 3 建築物の位置図
 ※建築物の場所がわかるもの
- 4 建築物の図面（A3 サイズ：縮尺あり）
 ※配置図，平面図，立面図，矩計図又は断面詳細図，その他木材利用の詳細が説明できるもの
 ※提出する図面は，合計で 8 枚以内となるようにする
- 5 建築確認済証の写し，検査済証の写し

（応募に当たっての留意事項）

- 1 当該応募申請書を基に審査を行いますので、記載できる箇所についてはできるだけ記載をお願いいたします。（記載できない箇所については空白でかまいません）
- 2 ご応募いただいた建築物は、県のホームページや広報資料等に掲載することになりますが、その際、本様式に記載いただいた内容を掲載させていただくことがありますので、予めご了承ください。
- 3 記載内容について、詳細な内容の確認や追加の証拠書類等をご依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。